

Ablation index を用いた心房細動アブレーションにおける再発の予測因子の検討

研究の対象となる方

2018年1月から2020年1月にかけて当院で高周波を用いた初回の心房細動アブレーションを受けた方

目的・方法

現在、高周波心房細動アブレーション治療を行う患者さんには、アブレーションインデックス (Ablation index) と呼ばれる焼灼の程度を評価する数値を目安にすることで、安全かつ効果的な治療を行うことができています。しかし、現状においても術後の再発は治療における大きな課題となっています。現在採用している方法で心房細動アブレーションを行ったときに、どのような要因があると再発の可能性が高くなるのかに関して検討します。

カルテや治療のデータを収集し、統計学的な検討を行うことで、再発を予測する因子を探し出します。その上で、それらの因子が実際にどの程度・どのように再発に影響しているかを検討します。

研究期間

2021年7月27日～2020年3月31日

研究に使用する情報

患者背景に関する情報

- ・ 年齢、性別、身長、体重、不整脈の種類、既往歴、血液検査結果、心エコー検査結果 など

治療に関する情報

- ・ 手技時間、治療方法、治療の結果、左房の電気情報、追加治療の有無 など

術後経過に関する情報

- ・ 早期再発の有無、3ヶ月以降の再発の有無、再発確認日、再発した不整脈の種類 など

お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先	済生会熊本病院 循環器内科 医長 岡松秀治 (研究責任者) 住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000(代表)
-----	--

以上